

**IISEシンポジウム**

**ウェルビーイングへとつながるまちづくりDX**  
**アクセシビリティ研究会2021年度調査研究報告書より**

2022年3月22日

東洋大学

山田 肇（研究会主査）

# なぜヒトがないのだろうか： 「スマートシティ」をGoogle画像検索すると

スマートシティ - Google 検索

https://www.google.com/search?q=スマートシティ&source=lnms&tbm=isch&sa=X&ved=2ahUKEwjdoayLq8T2AhUjCqYKHfj-DI...

すべて ニュース 画像 動画 ショッピング もっと見る ツール コレクション セーフサーチ

アイコン イラスト 日本 パナソニック 国土交通省 デザイン モビリティ 介護 自衛

Internet of Things  
スマートシティ (Smart City) とは | IoT NEWS  
iotnews.jp

スマートシティ官民連携プラットフォーム  
mlit.go.jp

スマートシティとは | IoT時代に広がりを見せる次世...  
boxil.jp

スマートシティとは? 注目される理由や国内・海外の...  
pasonatech.co.jp

将来のスマートシティはどのようなものでしょうか?  
スマートシティでの生活 - Infineon Technologies  
infineon.com

スマートシティとは | IoT時代に広がりを見せる次世代都市 | Beyond (ビ...  
boxil.jp

スマートシティ構想とは? 日本の事例と我々にもたらす変化 | ...  
apiste.co.jp

# スマートシティは 人々のウェルビーイングのためであるべき

- 大辞泉（小学館）では
  - 幸福。安寧
  - 身体的・精神的・社会的に良好な状態。特に、社会福祉が充実し、満足できる生活状態にあることをいう
- Longman Dictionary of Contemporary Englishでは
  - a feeling of being comfortable, healthy, and happy
  - the well-being of a country is the state in which it is strong and doing well
- 「幸福」や「幸せな気分」という人々の主観に最終的には結びつく「まちづくり」を、デジタルを活用してどう進めていくかについて、先行事例を含めて調査研究し、示唆を得ることを、研究会の2021年度の目的とした

# よい知らせ：デジタル田園都市国家構想実現会議

- 第1回（2021年11月11日）の牧島かれんデジタル相の発言
- 継続的な発展のためには、RESASを含め、オープンデータを活用して、**地域のウェルビーイングやサステナビリティが本当に向上しているのか、KPIを設定してモニタリングしながら、段階を追って地域産業の成長を支援していきたいと考えます。**
- 2022年3月9日付日本経済新聞電子版によれば、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが開発した「リバブル（暮らしやすさ）ウェルビーイングシティ指標」が候補
- **スマートシティにおける「人間中心主義」を明確化すべき。**市民の視点から「住みやすさ・幸福度」を数値化・可視化し、〇〇〇市らしい“土地柄”を生かしたまちづくりを実施すべき

# ウェルビーイング評価に関わる海外の動向

- OECDは**Better Life Index**を開発。GDPに代わって、暮らしの11の分野で各国比較
- 11分野は、住宅、所得、雇用、コミュニティ（社会的つながり）、教育、環境、市民参画、健康、生活満足度、安全、ワークライフバランス
- 欧州連合は**European Quality of Life Surveys**という各国の比較調査を2016年より実施
- 主観的ウェルビーイング、生活水準と貧困、ワークライフバランスと介護の負担、「公共サービスの質」、「社会としての質」が評価指標の大分類

# 英国の国家ウェルビーイング評価指標（National well-being Dataset）

- 評価のきっかけを三点で説明
  - **ウェルビーイングは人々の健康に影響し、ウェルビーイングを高めれば寿命が延伸し、病気からの快復が向上する**
  - 成人にとっても子どもにとっても前向きな健康習慣がウェルビーイングと関係し、より広範な前向きなアウトカムをもたらす
  - **個別のアウトカムの先で最終的に、医療費支出が低減される**
- 評価指標の大項目
    1. 個人的なウェルビーイング
    2. 私たちの人間関係
    3. 健康
    4. 日常生活
    5. 居住環境
    6. 個人の収入
    7. 国としての経済状態
    8. 教育とスキル
    9. 政治
    10. 自然環境

# 「個人的なウェルビーイング」とその他の評価指標

- 主観的評価指標  
「個人的なウェルビーイング」
  1. 今までの一生を全体として評価して、満足度はとても高いとした割合
  2. (自分たちが) 今行っていることを評価して、とても高い価値があるとした割合
  3. 昨日の幸福度を評価して、とても高いとした割合
  4. 昨日の心配度を評価して、とても低いとした割合
- 世論調査型評価指標
  - 人間関係がかなり、あるいはひどく不幸であると評価した人口の割合、この12か月以内にボランティアとして活動した割合、成人1000人当たりの犯罪への遭遇数、など
- 統計型評価指標
  - 生誕時点での健康寿命予測、住宅費を差し引く前の収入が中央値の60%未満である世帯の割合、インフレ率、温室効果ガスの総排出量、など

# 「ウェルビーイングにつながるまちづくり」政策の枠組み

## ゴール：主観的指標の向上

国民一人ひとりが感じる「幸せな気分」、「幸福感」という主観的指標で評価される

## 「ウェルビーイングにつながるまちづくり」政策の具体的取組

基本政策の上で実施される多様で総合的な応用政策で、  
世論調査型指標で評価される

## 国家として必ず実施する基本政策

国民全員のウェルビーイングの前提（例：プライマリヘルスケア）で、  
統計型指標で評価される

# 総合政策とは：国内先行事例（岐阜県岐阜市、熊本県荒尾市、神奈川県鎌倉市）の分析

英国指標 (大分類)	共生	子育て・ 教育	健康・ 福祉	産業・ 労働	文化・ スポーツ	都市基 盤形成	環境	防災
私たちの 人間関係	○	◎	◎					
健康		○	◎					○
日常生活	○	◎		◎	◎	◎	○	
居住環境		◎	○			◎	○	◎
個人の収入	○			◎				
教育とスキル		◎			○			
自然環境		○				◎	◎	○

# 総合政策推進の留意点

- **首長のリーダーシップ**：組織横断的に事業を推進するリーダーシップ
- **中断リスクへの担保**：首長の交代で容易に廃止されないように、基本計画/総合計画に記載する
- **総合政策としてのプロセス**：共生、子育て・教育、健康・福祉、産業・労働、文化・スポーツ、都市基盤形成、環境、防災の8分野政策を、調和を取りながら、個別政策の担当間で連携して推進
- **適切な計画・実行・評価・改善**：PDCAサイクルを継続して回すには、計画において適切な指標や目標設定がされている必要
- **住民による評価**：住民の声を聴き、住民を中心に据えた地方行政を実現する
- **公民共創での推進**：課題特定の段階から公民が協働する公民共創

# まちづくりと地方公共団体の役割

## • 松本市事例の分析より

- 行政「経験」は色褪せ、政策的な「勘」は単なる博打の確率程度となる恐れ

## • データに基づく評価が必要

- たとえば健康分野であれば、行政に蓄積された健診データ、レセプトデータ、医療機関の基礎データ等を利用し、地域産業連関分析、費用対効果分析などを実施して、政策評価するべき

## • 長野市事例の分析より

- 都市の成長には、デジタルを活用した行政側の変革に加え、市民の行動変容も求められる

- 個人の行動・選択の自由を公共が阻害せず、なおかつ「より良い結果」に誘導するため、スマートシティでは人々の行動データが活用でき、ナッジを有効に働かせることができる

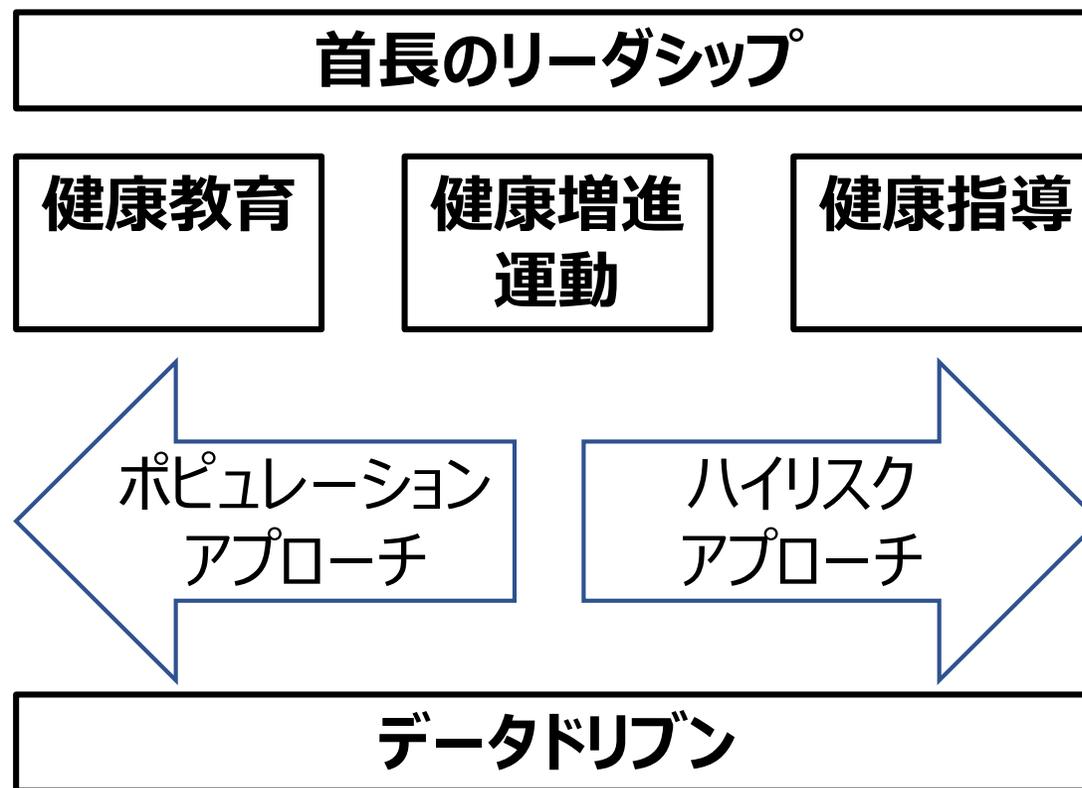
# 誰一人取り残さないデジタル化

- **エイジテック普及への提言**
- デジタル活用支援推進事業などよりも、**ユニバーサルデザイン（UD）に対応したエイジテックを、当事者参加型で開発し、普及する必要がある**
- 「UDなもの以外、買わない、作らせない」を法制化し、公共調達するというルールは、企業側のモチベーションも高める
- **移動支援プラットフォーム「ドコケア」の事例紹介**
- 高齢者や障害者等の移動等を、地域住民が隙間時間を活用して支援するアプリ「ドコケア」
- **支援アプリを相互連携して、いっそうの利便向上を図り、アプリ利用者のウェルビーイングを向上させていく**

# 誰一人取り残さないデジタル化

- **ACP・EOLC普及への提言**
- ACPのコミュニケーションを記録して多職種間で伝達・共有し、その記録を常に更新し、再評価を繰り返すことにより、**一元的・継続的なEOLC (End of Life Care) を可能にする**
- EOLCの品質の検証を可能にし、QIを満たす医療・介護者の研修体制を整備することでQOD (Quality of Death) が向上できる

## • 地域健康経営の枠組み



# まとめ

- ヒトの気配のない都市ではなく、人々が「幸福」や「幸せな気分」を感じられるスマートシティを目指して「まちづくり」を進めるのがよい
- 国家として必ず実施する基本政策の上で、共生、子育て・教育、健康・福祉、産業・労働、文化・スポーツ、都市基盤形成、環境、防災の8分野政策を、調和を取り、連携して推進することで、住民一人ひとりの主観的なウェルビーイングは向上する
- 行政に蓄積された各種のデータ等を利用し、地域産業連関分析、費用対効果分析などを実施して、政策を評価する必要がある
- エイジテック、移動支援アプリ、ACPなど、デジタルによって「まちづくり」は変革する

# アクセシビリティ研究会メンバー一覽

- |    |             |  |
|----|-------------|--|
| 主査 | <b>山田 肇</b> | 東洋大学名誉教授／情報通信政策フォーラム理事長                                    |
|    | <b>川添高志</b> | ケアプロ株式会社代表取締役社長  |
|    | <b>榊原直樹</b> | 清泉女学院大学人間学部文化学科専任講師  |
|    | <b>下野僚子</b> | 東京大学総長室総括プロジェクト機構「プラチナ社会」<br>総括寄付講座特任講師                    |
|    | <b>関根千佳</b> | 株式会社ユーディット会長／<br>同志社大学政策学部大学院総合政策研究科客員教授                   |
|    | <b>千田一嘉</b> | 金城学院大学薬学部教授  |
|    | <b>平尾 勇</b> | 株式会社地域経営プラチナ研究所代表取締役<br>(元松本市商工観光部長〈健康産業担当〉／元松本ヘルス・ラボ副理事長) |
|    | <b>藤方景子</b> | 認定NPO法人湘南ふじさわシニアネット  |
|    | <b>遊間和子</b> | 株式会社国際社会経済研究所主幹研究員 (事務局)                                   |